

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-1-141

補助事業名 平成23年度 地域ふれあい交流活動補助事業

補助事業者名 宮城県大河原町立金ヶ瀬中学校

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ア. 農業体験と地域防災訓練を中心とした地域交流

地域住民による学校支援組織の協力により、全校生徒が学区内数軒の農家にわかれて農業体験を行う。また、米作りや梅干し作り体験も行い、これを生徒が主動する地域防災訓練の際も使用する備蓄食糧ともする。このことによって健全な勤労観を養うとともに、地域の農家の現状について理解し、また地域の人々とのふれあいによって地域の一員としての自覚を育てる。さらに、地域住民と中学生が協働する地域防災訓練を実施し、地域ふれあい交流活動とし、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 近隣地域の東日本大震災津波被害校の復旧支援活動

イ. 地域農家への一日弟子入り体験

ウ. 中学生が主動する地域防災訓練

エ. 伝統的食文化の継承体験学習（備蓄食糧ともなる米作りと梅干し作り）



米作り 梅干し作り
地域防災訓練



2. 予想される事業実施効果

- ・農作業や作物栽培等の体験を通じて、地域の農業を知り、働くことの大変さを体感し、互いに協力してやり遂げることの大切さや素晴らしさを学ぶことができる。
- ・奉仕的な活動を行うことで、奉仕の精神が心の成長に必要であることを知り、人として社会を生きるために大切な思いやりの心を育むことができる。
- ・地域防災訓練への取り組みを通して、自助と共助を理解し、その大切さを体感することで、地域貢献への意欲を喚起する。
- ・中学生を含め、地域の広範囲の年齢層において、地域防災力の向上を図ることができる。
- ・中学生が農業などの地域産業に体験的に参画したり、地域の防災訓練を主動したりすることで、持続可能な地域社会づくりの担い手として育成が図れる。
- ・中学校とその生徒が、地域住民と一緒にあって体験活動や奉仕活動などを展開することで、地域社会との関わりを深め、地域の絆を強めることや地域の活性化につなげることができる。
- ・学校が地域の人的・物的教育資源を活用して、その成果や効果等を地域に情報発信することで、学校教育の実践が拡充する。

3. 本事業により作成した印刷物

なし

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名：宮城県大河原町立金ヶ瀬中学校

住 所：989-1224

宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字原74

代表者名：校長 鈴木 英典（スズキ ヒデノリ）

担当部署：研究主任（ケンキュウシュニン）

担当者名：教諭 松崎 恵子（マツザキ ケイコ）

電話番号：0224-53-1369

F A X：0224-51-1076

E - m a i l：kinchu@town.ogawara.miyagi.jp

U R L：<http://www.town.ogawara.miyagi.jp/kanachu/>